

とよひら・りんく NewsLetter

発行 札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会 「とよひら・りんく」事務局



りんく塾の様子



平成29年度 第1回りんく塾を開催

平成 29 年 7 月 31 日 (月) 18:30~20:00 (豊平区民センター)

平成 29 年度、第 1 回りんく塾を開催いたしました。

医療・介護関係者等、78 名が参加されました。

公益財団法人在宅医療助成
勇美記念財団 助成による

りんく塾 が目指すもの

西岡病院 内科医長 澤田 格 先生

りんく塾の開講の経過をふくめ、お話をさせていただきました。

りんく塾では、医療介護に関わる全職種が ACP (アドバンス・ケア・プランニング) の知識や技術を身につけ、日々実践し、患者 (利用者) 支援に活かすことを目的として、開講をしました。年 4 回の研修会を予定しています。

厚生労働省「人生の最終段階における医療体制整備事業」での「相談員研修会」の資料などを参考に、各施設・事業所で職員研修会として開催できる研修教材の提供などを提供し、りんく塾を受講した医療介護従事者が ACP ファシリテーターとなり、各施設・事業所に広めていくことを進めていきます。

〈厚生労働省 人生の最終段階における医療体制整備事業／人生の最終段階における医療にかかる相談員研修会資料〉

<http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/eol/kensyu/soudan27/siryu.html>

アンケート結果 (一部)

- ・これから考えている展望などが分かりました。(在宅事業所・介護支援専門員)
- ・本人、家族の想いをくみとるのに、必要なことだと思いました。(有料老人ホーム・施設長)
- ・今後参加する上で予定などがわかりよかったです。(調剤薬局・薬剤師)

【用語解説】 ACP 「アドバンス・ケア・プランニング」

今後の治療・療養について患者・家族と医療従事者があらかじめ話し合う自発的なプロセス。

- －患者が望めば、家族や友人とともに行われる。
- －患者が同意のもと、話し合いの結果が記述され、定期的に見直され、ケアにかかわる人々の間で共有されることが望ましい。
- － ACP の話し合いは次の内容を含む。
 - ・患者本人の気がかりや意向
 - ・患者の価値観や目標
 - ・病状や予後の理解
 - ・治療や療養に関する意向や選好、その提供体制

(参考: E-FIELD 平成 27 年度人生の最終段階における医療体制整備事業 研修会 資料)

りんく塾・年間スケジュール (予定)

- 2017年7月31日(月) 第1回りんく塾 講演「在宅医療における意思確認と情報共有」
- 9月25日(月) 第2回りんく塾 意思決定に関わる事業所内研修の方法
- 11月27日(月) 第3回りんく塾 在宅医療における情報共有の課題、グループワーク
- 2018年1月29日(月) 第4回りんく塾 実践報告「意思決定に関わる情報共有の在り方」

(講演)在宅医療における意思決定の重要性とその共有のあり方

札幌市医師会

札幌市在宅医療協議会 会長 坂本 仁 先生

札幌市医師会 札幌市在宅医療協議会 会長の坂本仁先生（坂本医院／札幌市西区）に在宅医療における意思決定について講演をしていただきました。

坂本先生はご存知の通り、平成9年から西区在宅ケア連絡会をたちあげ、地域包括ケアシステムという言葉が世の中に出る前から、地域連携・在宅医療の第一線で活躍されているトップランナーです。実際の患者さんの関わりを通して、意思決定の「説明」と「同意」に繰り返し関わることの重要性についてお話していただきました。



アンケート結果（一部）

- ・本人の意向を確認し、チームで話し合っていくことの重要性を再認識しました。（医療機関・看護師）
- ・事例をたくさん紹介していただき、勉強になりました。独居でも支援体制を整えることで在宅医療が可能であることもよくわかりました。（医療機関・看護師）
- ・在宅の看取りのイメージが症例を通して、よく分かりました。（医療機関・看護師）
- ・事例を通して具体的な在宅医療の現状が理解できました。患者さんを地域にお願いする立場として関わり不足を考えさせられました。（医療機関・医療ソーシャルワーカー）
- ・お体に気をつけ、今後も活躍して欲しいです。（在宅事業所・看護師）
- ・患者背景が多岐にわたり、在宅の対応時の複雑さがあると感じました。（調剤薬局・薬剤師）
- ・意思決定における説明の重要性が再確認できました。（地域包括支援センター・介護支援専門員）

「日本の医療におけるACPのアプローチ」 ACP研究会 第2回年次大会のご案内

本年9月2日（土）愛知県名古屋市の愛知県芸術文化センターで、ACP研究会第2回年次大会が開催されることになりました。

本研究会は、国立長寿医療研究センターが事務局となり、平成26.27年度厚生労働省「人生の最終段階における医療体制整備事業」の採択医療機関が中心となり、昨年度発足した研究会です。

全国各地の医療機関からの「医療におけるACPのアプローチ」の演題発表を中心にACPの普及を考える会です。

今回の年次大会は当会の五十嵐知文会長が大会長を務めることになりました。参加申込みも始まっています。

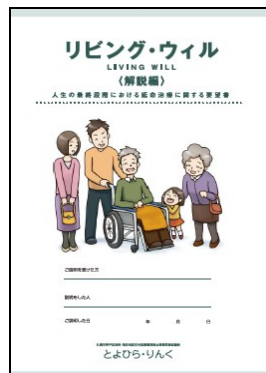
ホームページ：http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/acp_hp/acp_meeting2/index.html

ホームページ掲載情報

下記の冊子は「とよひら・りんく」ホームページからダウンロード可能です。ご活用ください。

今年度、りんく塾内での検討の上、見直しを予定しています。

（ホームページ→療養支援からご覧いただくことができます。）



とよひら・りんく事務局 西岡病院 地域連携室 岡村・田附・横田 ホームページ：<http://www.toyohiralink.jp/>

電話 011-853-8322（平日 9-17時） メールアドレス：info@toyohiralink.jp